

ごみの減量



やまがき
山崎 ふじ子 議員



質問者の録画映像
はこちらから

山崎 第3次三春町地球温暖化対策実行計画のなかでの、具体的取り組みは。

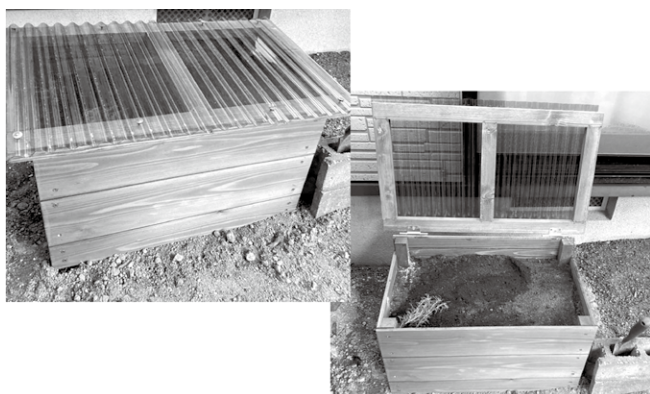
住民課長 エコドライブ・公共交通機関の利用・太陽光発電の設置や次世代自動車の導入。ごみの減量化や資源化である。

山崎 昨年のリサイクル率が14・3%と低い理由は。

住民課長 田村西部環境センターの溶解施設が休止となり、灰のスラグ化及び廃プラスチックごみが熱原料として使えなくなったためである。

山崎 可燃ごみの減量対策のため、コンポストなどに補助がでないか。

住民課長 1月～2月にキエーロの体験会を実施する準備を進めている。まずは処理機等を使っていたら、有効な手段であれば補



生ごみが消えるキエーロ

助を検討していきたい。

A

キエーロ※体験会を実施

Q

家庭ごみ減量対策は

小学校遊具の環境整備



おおうち ひろぶ
大内 広信 議員



質問者の録画映像
はこちらから

大内 学校の校庭や遊具は子どもたちが自由に体を動かし、創造力を育む大切な学びの場である。三春町の学校では遊具が古くなり、種類も少ない。子どもたちがワクワクする環境とは言いがたい状況である。学校の遊具を、テーマパークの要素を取り入れたものに再整備することはできないか。

教育課長 授業や学校行事等の利用が優先される現状の校庭を考えると、敷地面積や多様な利用の促進などの理由により困難であり、検討する考えはない。

大内 古くなった学校遊具の実態について、どのようにとらえているか。

教育課長 毎月1回は点検を実施し、必要があればその都度修繕を行うこととしている。



魅力的な学校遊具へ



福島県広野小学校の大型遊具

大内 子ども達が積極的に外遊びできる環境づくりについて、どう考えているのか。

教育課長 休み時間や週末に学校の運動場を開放し、子どもたちが自由に外遊びできる環境を整えているところである。

大内 子どもたちにとって魅力的な遊具を導入するために、専門家や企業、地域と協力する考えはあるか。

教育課長 学校や遊具設置業者と十人検討しているので、新たな協力は考えていない。

A

授業等の利用優先のため検討する考えはない

Q

小学校遊具のテーマパーク化構想は